

四日市市楠歴史民俗資料館

この資料館の主要施設である旧庄屋岡田邸は、代々庄屋の要職にあった岡田家の屋敷である。岡田家に残る文政12年(1829年)の古文書に庄屋の記載がみられ、この頃に庄屋職を桑名藩より拝命したと推定されている。また、建物については、敷地内に祭っていた弁財天の社の垂旗に、宝暦10年(1760年)の銘があることから建築年代は18世紀半ば、少なくとも江戸時代中期に、現在の主屋と土蔵が建築され、約250年あまり経過していると考えられている。北勢地域においても、歴史的価値が高い建造物であることから、四日市市有形文化財(建造物)に指定されている。平成17年4月に開館し、平成21年度から指定管理者制度を導入し、財団法人四日市市まちづくり振興事業団(現在は公益財団法人四日市市文化まちづくり財団)が指定管理者となって管理運営を行っていたが、平成24年度から四日市市立博物館が直接管理運営を行っている。

●施設概要

所在地	四日市市楠町本郷1068番地		
開館年月日	平成17年4月29日		
敷地面積	1,229.23㎡		
建築面積	338.09㎡		
延床面積	448.24㎡		
構造	主屋・立会所	木造瓦葺平屋	209.75㎡ (四日市市指定有形文化財)
	蔵	木造瓦葺平屋	39.08㎡ (四日市市指定有形文化財)
	水屋	木造瓦葺平屋	2.76㎡
	展示棟兼収蔵庫	木造瓦葺2階建	196.65㎡
見学時間	午前9時から午後5時		
入館料	無料		
休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日又は振替休日にあたるときは、その翌平日) 年末年始(12/29~1/3)・臨時休館日		



●施設

旧庄屋岡田邸
主屋・立会所・蔵・水屋
展示棟兼収蔵庫
常設展示室・映像コーナー・企画展示コーナー
事務室・収蔵庫

●来館者数

令和2年度	2,509人
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月15日(水)から5月18日(月)まで臨時休館	
※新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、来館者の検温・手指消毒・連絡先の記入を実施	
令和元年度	6,325人
平成30年度	6,731人
平成29年度	7,536人
平成28年度	8,102人

●事業概要

第1回、第2回新収蔵品ミニ展覧会
写生大会・小中学生自由研究作品展
企画展示コーナー作品展(市内外の文化サークル)
つるし雛とちりめん遊び展
竹灯り教室、しめ縄作り
語り部事業
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夏と秋の夜間特別開館、ひなまつりコンサートは中止

施設公開利用料金

利用時間	午前 (8時30分~12時)	午後 (13時~17時)
立会所		
ざしき西	660円	660円
ざしき東	660円	660円
小ざしき及び水屋	660円	660円
全室利用	1,980円	1,980円